

出張報告書

平成 29 年 8 月 15 日

市議会議長 雪本 清浩 様

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 米田 貴志

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 公共交通事業「ぐるっと・つーバスについて」
- 2 出 張 先 三重県津市
- 3 出張期間 平成 29 年 8 月 8 日（火）
- 4 出張者氏名 米田貴志、南加代子、松本妙子
岩崎雅秋、桑原佳一、友永 修
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

友永 修

視察先	三重県津市	テーマ	公共交通事業ぐるっと・つーバスについて
日 時	平成 29 年 8 月 8 日（火） 13 時 00 分～15 時 00 分		
市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について			
津市では、比較的バス路線は充実しているものの、バス利用者が減少し、経営悪化から年々減少してきている。高齢者等の生活の足となる利便性高いバス等の交通システムについての要望が多く、平成 13 年に、「津の街いきいきバスネットワーク」が発足され、コミュニティバスの導入についての検討が開始されました。 単に高齢者等の外出支援だけでなく、地域の新たな公共交通のニーズを開拓するという目標を掲げ、バスを活用した新しい生活スタイルの確立と地域の活性化を目指すため「バスネット津」の運行に取り組まれる。従来の公共交通運営の仕組みとは異なり、地域住民が主体となって、地域企業等の関係者の協力を得ながら、買い物・病院等地域が求める公共交通を自分たちの手で企画・運営し、将来的にも持続可能な交通システムを実践するものである。 津市ボランティア連絡協議会、津市役所商業活性化室、津の街いきいきバスネットワーク協議会、(株)まちづくり津夢時風、丸の内商店街振興組合、三重交通(株)の 6 団体と関係自治会で構成するバスネット研究会で導入へ向け様々検討し、平成 16 年より「ぐるっと・つーバス」として運行が開始された。NPO 法人バスネット津が運営をしており、バスの運行は、三重交通(株)に委託している。 収支においては、運賃収入と市の補助金として 400 万円、市民応援団（市民各個人）と地域企業からの協賛金、残りの不足分については、三重交通が負担（28 年度決算では、約 328 万円）している。 （総括）市の負担が、400 万円だけであることが、まず非常に興味深い。地域の企業や個人からの協賛金の募り方など地域の特色で違いはあっても、盛り込むべき必須項目だと思います。今後は本市でも、検討すべき地域バスについては、市民協など地域の特色を生かした、運行ルートや運営の仕方について十分な検討が必要と考える。			